



株式情報 (平成26年3月31日現在)

株式の状況

会社が発行する株式の総数	22,024,000株
発行済株式の総数	7,506,000株
株主の総数	615名

※第1回優先株式を含みます。

普通株式所有者別状況

金融機関	11名	1,368千株	24.8%
その他の法人	58名	1,063千株	19.3%
個人・その他	545名	3,075千株	55.9%

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	普通株式 222 第1回優先株式 2,000 計 2,222	34.2
明治安田生命保険相互会社	普通株式 325	5.0
株式会社鹿児島銀行	普通株式 195	3.0
株式会社トクヤマ	普通株式 181	2.8
日本証券金融株式会社	普通株式 180	2.8
株式会社西日本シティ銀行	普通株式 160	2.5
ヤマウ従業員持株会	普通株式 147	2.3
株式会社佐賀銀行	普通株式 130	2.0
リックス株式会社	普通株式 112	1.7
昭和電工株式会社	普通株式 101	1.6

(自己株式を除く)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
期末配当金受領株主確定日	3月31日	
中間配当金受領株主確定日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081	3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号	
公告掲載方法	TEL 0120-232-711 (通話料無料) 日本経済新聞	

より詳細な情報は弊社WEBサイトをご覧ください

ヤマウ

検索

<http://www.yamau.co.jp/>



ヤマウフィロソフィー

わが社は、事業活動を通じて社会に貢献することを使命とし、顧客の満足度を高め、会社の発展と社員の幸福を実現する。



topics

YAMAU REPORT 2014

九州北部豪雨災害からの復旧

平成24年7月一。

九州北部を襲った集中豪雨により、福岡、大分、熊本の3県において甚大な自然災害が発生しました。

わが社は、災害対象地区の自治体と連携し、迅速に支援体制（積算、設計、技術等のサポートや復旧製品の納品体制）を整え、被害を受けた河川や道路等の災害復旧に貢献できました。

また、政府の緊急経済政策に基づくインフラ補修事業（老朽化対策、防災・減災対策）にも取り組んでまいりました。



星野川筋河川改良復旧工事（納入製品 パワーロックII）



代表取締役社長

中村 健一郎

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第57期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成26年6月



広川護岸工事（納入製品 CV絆）

より安心でより快適な生活環境づくりに貢献するヤマウの製品



○カルバート類

FAボックス



○擁壁類

パワーロックⅡ



○道路製品類

PGF (プレキャストコンクリート剛性防護柵)



○貯留及び浸透製品

アクアポンドS型 (プレキャスト雨水貯水槽)



○新エネルギー製品

ソーラーレッグ (ソーラーパネル基礎架台)

○河川製品類



グリーンロック

○L型擁壁類



NNC (ニューノーマルクリフⅡ)

○建築製品



ファインユニ (後付エレベーター昇降路)

○レジンコンクリート製品



カーストップ、係船柱

公共工事の増加や需要の掘り起しが奏功し大幅増収・増益を達成。

当期決算のポイント

- ・ 政府の緊急経済政策や九州北部豪雨災害の復旧対応により公共工事が増加
- ・ 東九州道採用の剛性防護柵やソーラーパネル基礎架台の出荷が業績に貢献
- ・ 部門間の連携強化等による営業力の強化並びにプレキャスト製品化の推進による提案力の強化

今後の成長課題

- ・ 新商品・新技術・新工法の開発による市場ニーズの獲得
- ・ 製造工程の効率化と原価低減による収益性および価格競争力の向上
- ・ 建造物の老朽化並びに耐震化対応に伴う補修・補強工事を行う子会社設立で事業領域拡大

■ 当期の営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景としたデフレ脱却への期待感から、円高の是正や株価の上昇が見られる中、企業業績の改善や雇用情勢の改善による個人消費が増加する等、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、国内の原材料・エネルギー価格の高騰や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野におきましては、競合他社との厳しい企業間競争下にありますが、政府による緊急経済政策や九州北部豪雨災害の復旧工事等による公共工事の増加により、主要市場である九州圏内での需要は拡大しました。

■ 次期の見通し

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、政府は平成26年度予算において、インフラ老朽化対策の加速や防災対策の強化等を打ち出しておりますが、主要市場である九州圏内においては、公共工事の増加が不透明な中で、競合他社との企業間競争の激化、円安による原材料の高騰等による製造コストの増加も懸念され、次期は予断を許さない状況で推移するものと認識しております。

このような状況にあって当社グループは、引き続き、競合他社との差別化並びに新たな需要の掘り起こしを図るべく、

このような状況の中で当社は、経営環境の変化への対応や競合他社との差別化を図るべく、部門間の連携強化等による営業力の強化並びに大型分割アーチカルバートの開発等プレキャスト製品化の推進による提案力の強化や、製造部門における生産性向上によるコスト削減強化に努めて参りました。また、関係会社におきましては、年度末に集中する工事の完成に対応できる体制を整えて参りました。

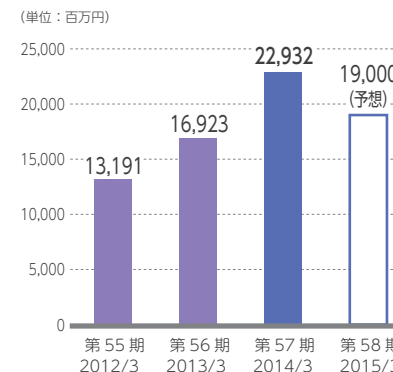
これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高が229億32百万円（前年同期比35.5%増）、営業利益が14億36百万円（前年同期比292.1%増）、当期純利益が8億56百万円（前年同期比157.1%増）となりました。

市場ニーズを収集し、新製品・新技術・新工法の開発等による技術・提案力の強化に取り組んで参ります。また、生産性・採算性の向上による競争力の強化、製品供給体制の強化やグループ会社内の情報共有化等による営業力の強化に取り組む、利益確保に邁進する所存であります。

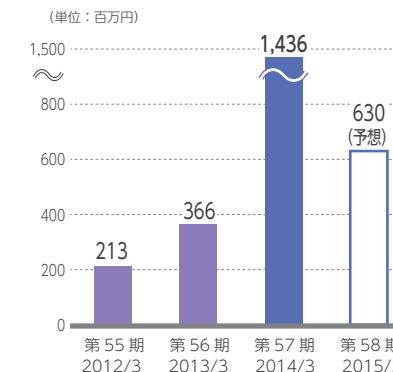
なお、次期の連結業績につきましては、売上高は190億円（当期比17.1%減）、営業利益6億30百万円（当期比56.1%減）、経常利益6億20百万円（当期比58.1%減）、当期純利益3億50百万円（当期比59.1%減）を見込んでおります。

主要な経営指標

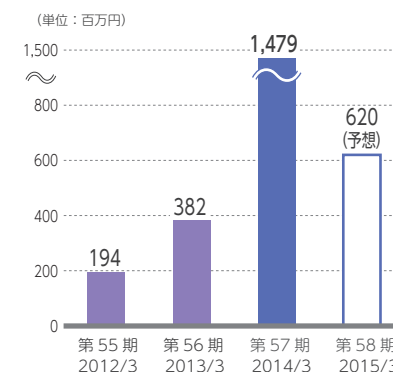
■ 連結売上高



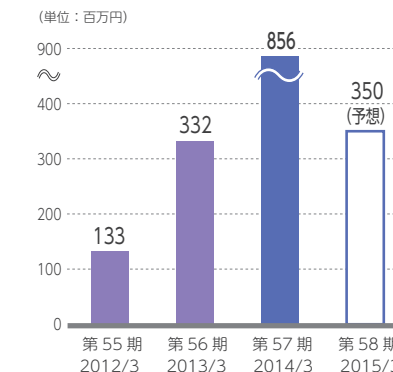
■ 連結営業利益



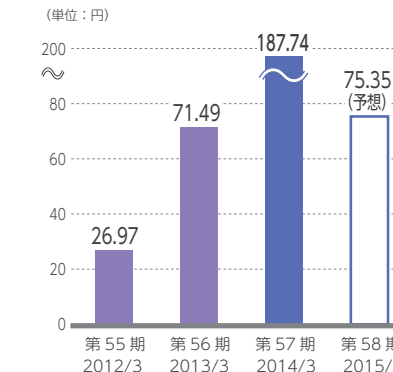
■ 連結経常利益



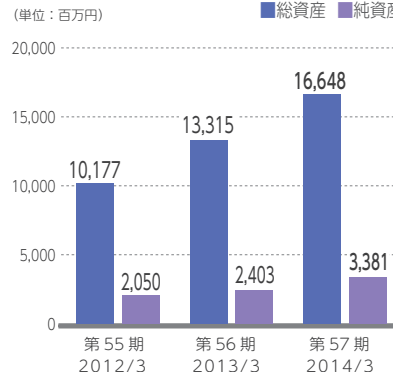
■ 連結当期純利益



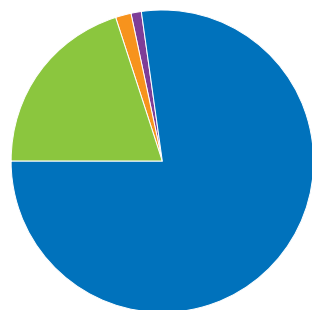
■ 連結1株当たり当期純利益



■ 連結総資産/連結純資産



セグメント別売上高割合



- **コンクリート製品製造・販売** 77.4%
- **水門・堰の製造・施工・保守** 20.0%
- **情報機器販売・保守、環境関連商品販売** 1.5%
- **コンクリート構造物の点検・調査** 1.1%

□ **コンクリート製品製造・販売事業**

コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、政府による緊急経済政策や九州北部豪雨災害の復旧工事等による公共工事の増加により需要は拡大しました。このような状況の中、主力の土木製品群を中心に、受注強化に継続的に取り組んで参りました。

その結果、当連結会計年度においては、コンクリート製品製造・販売事業の売上高は、177億54百万円（前年同期比31.5%増）、セグメント利益（営業利益）は8億1百万円（前年同期比177.5%増）となりました。

□ **水門・堰の製造及び施工並びに保守事業**

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。

当連結会計年度においては、補正予算等により九州圏内での完成工事高が著しく増加したことに加え、採算の確保に努めた結果、水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上高は45億83百万円（前年同期比57.8%増）、セグメント利益（営業利益）は5億91百万円（前年同期比814.3%増）となりました。



マイターゲート

□ **情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業**

情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器、貨幣処理機及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守、LED照明の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上高は3億41百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（前年同期比210.7%増）となりました。

□ **コンクリート構造物の点検・調査事業**

コンクリート構造物の点検・調査事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修・補強設計業務の請負によるものであります。

当連結会計年度においては、コンクリート構造物の点検・調査事業の売上高は2億62百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益（営業利益）は36百万円（前年同期比244.5%増）となりました。

□ **コンクリート製品の種類**

■ **土木製品**

土木部門では、開発の基本は自然との共存であるという考えからさらに一歩進んで、自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する製品を数多く生み出しています。



パワーロックII

■ **景観製品**

多彩な表情を持つヤマウの景観製品は自然環境に広がりとお興行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



擬石緑石、笠石、ベンチ、水飲み、パーゴラ他

■ **建築製品**

後付エレベーター昇降路「Fine uni（ファインユニ）」は、既存建物の物理的バリアを解消し、入居者の高齢化が進む共同住宅や、車椅子対応を進める教育施設への今後の需要が見込まれています。



ファインユニ（後付エレベーター昇降路）

■ **レジンコンクリート製品**

耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などに優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な製品です。



fitサークル

● 連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
流 動 資 産	12,345,936
固 定 資 産	4,302,805
有形固定資産	3,629,596
無形固定資産	177,296
投資その他の資産	495,912
資 産 合 計	16,648,742
負 債 の 部	
流 動 負 債	12,304,230
固 定 負 債	962,906
負 債 合 計	13,267,136
純 資 産 の 部	
株 主 資 本	3,145,662
資本金	800,000
資本剰余金	300,000
利益剰余金	2,057,885
自己株式	△12,223
その他の包括利益累計額	168,350
その他有価証券評価差額金	66,588
退職給付に係る調整累計額	101,761
少数株主持分	67,592
純 資 産 合 計	3,381,605
負 債 純 資 産 合 計	16,648,742

● 連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	22,932,951
売上原価	17,150,969
売上総利益	5,781,982
販売費及び一般管理費	4,345,043
営業利益	1,436,938
営業外収益	154,235
営業外費用	111,633
経常利益	1,479,540
特別利益	1,195
特別損失	184,143
税金等調整前当期純利益	1,296,592
法人税、住民税及び事業税	499,414
法人税等調整額	△87,953
少数株主利益	29,077
当期純利益	856,053

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,314,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△483,966
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	348,960
現金及び現金同等物の期首残高	1,465,242
現金及び現金同等物の期末残高	1,814,202

● 連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	800,000	300,000	1,226,433	△11,903	2,314,529	50,609	—	50,609	38,514	2,403,653
当期変動額										
剰余金の配当			△24,601		△24,601					△24,601
当期純利益			856,053		856,053					856,053
自己株式の取得				△319	△319					△319
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						15,979	101,761	117,741	29,077	146,819
当期変動額合計	—	—	831,452	△319	831,132	15,979	101,761	117,741	29,077	977,951
当期末残高	800,000	300,000	2,057,885	△12,223	3,145,662	66,588	101,761	168,350	67,592	3,381,605

● 会社概要

商 号 株式会社ヤマウ
 本 社 福岡市早良区東入部五丁目15番7号
 創 業 昭和28年10月
 設 立 昭和33年2月
 資 本 金 8億円
 代 表 者 代表取締役社長 中村 健一郎
 従 業 員 232名

● 会社役員

代表取締役会長 権 藤 勇 夫
 代表取締役社長 中 村 健 一 郎
 専 務 取 締 役 小 嶺 啓 藏
 常 務 取 締 役 伊 佐 寿 起
 取 締 役 徳 安 正 範
 常 勤 監 査 役 平 野 貞 義
 監 査 役 長 野 紘 一
 監 査 役 右 田 國 博

● 事業所

営 業 所 福岡、久留米、北九州、筑豊、熊本、佐賀、唐津、長崎、大分、大分北、宮崎、延岡、日南、高鍋、都城、鹿児島、川内、鹿屋、霧島
 関東事業部

工 場 福岡、北九州、佐賀、大分、川南、高崎、鹿児島

● 主な子会社

(有)ヤマウ・アサヒ 鉄筋加工事業
 (株)ヤマウトラスト 製造業務請負事業
 九 ン 販 売 (株) コンクリート製品仕入販売事業
 メ ッ ク (株) コンクリート構造物の点検・調査業務、補修・補強設計業務、補修工事業務、補修・補強材料販売業務
 クリエイトィブ・モールド(株) コンクリート製品用型枠の製造・販売並びに改造・修理
 光洋システム機器(株) 情報機器の開発・販売及び保守並びに環境関連商品の販売
 大 分 フ ジ (株) コンクリート製品製造・販売
 宮 崎 プ レ コ ン (株) コンクリート製品製造・販売
 開 成 工 業 (株) 水門・堰の製造、施工及び保守
 (株)リペアエンジ 一般土木工事並びにコンクリート構造物等の補修・補強工事



▲佐賀工場



▲高崎工場